



for you, for the earth

あなたのために、地球のために。

住友ゴムの創業は、今からちょうど100年前の1909年(明治42年)。兵庫県神戸市に、日本初のタイヤ工場をつくったのはじまりです。

それは、国産乗用車ができるまでずっと前のこと。それから100年。日本で初めて自動車用タイヤを生産したのを皮切りに、住友ゴムはタイヤのフロンティアを

ひとつまたひとつと切り拓いてきました。人とクルマの関係を少しでも良くするために、様々な技術を生み出してきました。

日本初のチューブレスタイヤ。日本初のラジアルタイヤ。タイヤはいつしか、日本中、世界中の人々を乗せて走る存在となりました。

しかし、私たちは今、大きな問題に直面しています。地球温暖化、石油エネルギーの減少。地球をとりまく多くの環境問題です。

タイヤは、今や世界中の人だけでなく、地球の未来にも大きな責任を負っています。タイヤからできることは何か。私たちの活動からできることは何か。

私たちはタイヤの更なる可能性を追い求めました。そのひとつが、石油外天然資源97%のタイヤ、**「ENASAVE(エナセーブ)97」**。石油や石炭など化石資源の使用率を3%にまで減らした、CO₂削減に貢献するタイヤです。

誰もが不可能と思う道に挑戦し、どんなに難しい問題も、持ちうるすべての技術で乗り越えていく。それが、創業以来かわらない。私たちのやり方なのです。

今年、住友ゴムは100周年を迎えます。しかし、私たちが進むべき道は、これまでもこれからもただひとつ。それは、まだ誰も足を踏み入れていない、タイヤの道なき道。

次は、石油外天然資源100%のタイヤをめざして。*“for you, for the earth”* あなたののために、地球のために。

住友ゴムは、100年の歴史で築き上げた技術や経験を活かし、地球環境の未来のために走り続けていきます。

住友ゴムグループは、今年、100周年を迎えます。



さあ、次の100年へ。